

検収入力

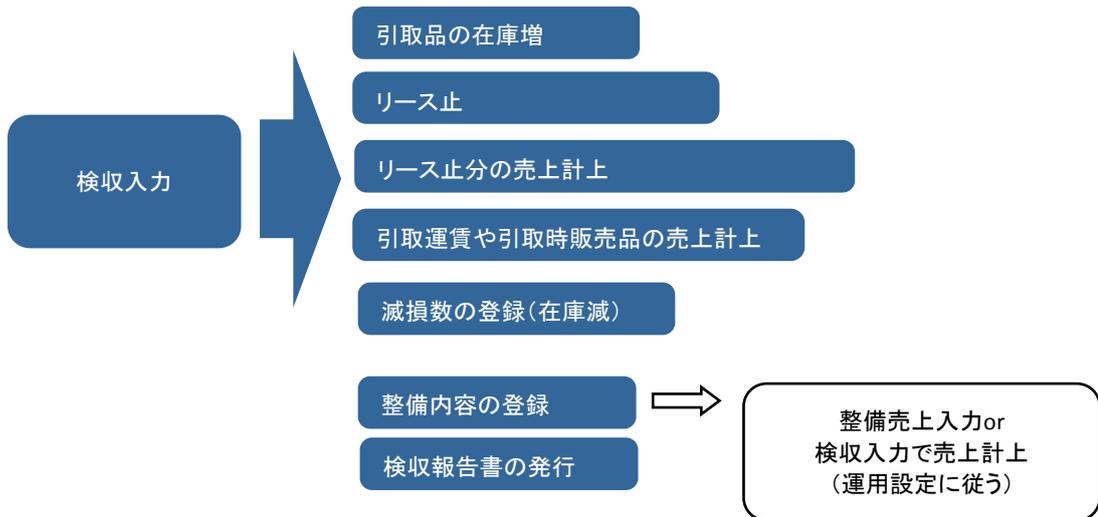
検収入力では、得意先、現場からの引取数、引取時の運賃や販売品（作業や燃料代等）、検収後の整備内容をを入力します。

※新規登録・修正・削除、キー操作方法などは「伝票入力画面 共通基本操作」を参照してください。

1) 検収入力概要

Point

- ・検収入力することにより、以下の業務が可能となります。
 - ① 商品が在庫に戻ります。（在庫については後述参照）
 - ② 検収入力の内容に従って、リース料が売上計上されます。
 - ※ 検収入力直後に売上計上されます。
 - ③ 引取運賃や引取時の販売品を入力して請求（売上計上）できます。
 - ④ 入力して減損数で実在庫（帳簿在庫）が減少します。
 - ⑤ 整備項目、整備数や単価を入力できます。
 - ※ 整備費用の売上計上は整備売上入力にて行います。
 - 検収入力では整備項目や単価を入力できますが売上はされません。
 - 検収入力に登録した整備内容は整備売上入力に引き継ぐことができます。
 - ただし、運用設定で「検収と同時に整備売上を計上する」を「する」に設定している場合は、検収入力の更新と同時に整備費用の売上を計上します。**
 - ⑥ 検収報告書を発行できます。
 - ※ 都度請求の得意先の場合、整備品の売上などが載せられませんので、整備売上入力後に検収報告書を発行してください。



- ・検収伝票を登録した時点で売上計上されるのは、リース料・販売品です。減損や整備費用は検収入力または整備売上入力のいずれかで売上計上します。

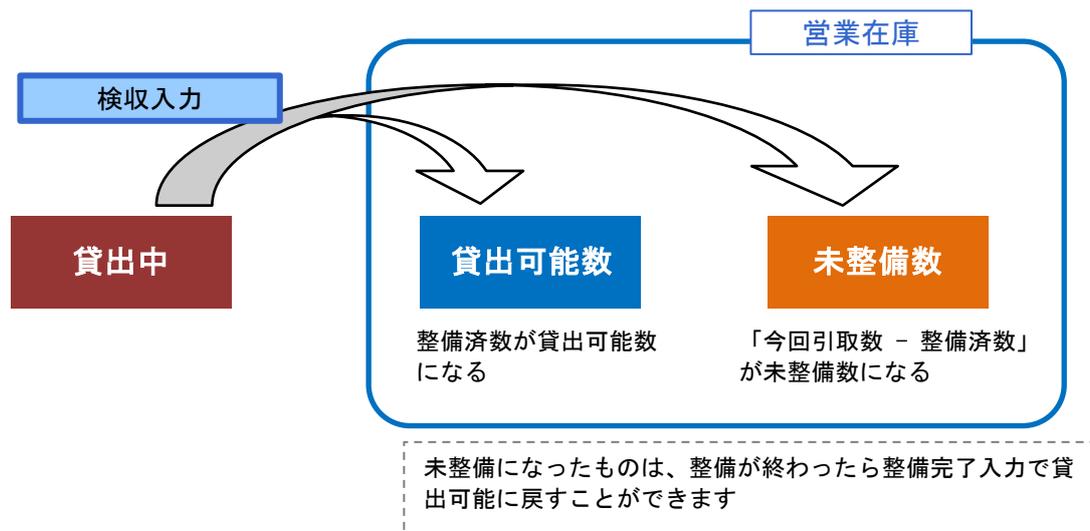
検収入力						
伝票指定						
伝票No	45					
返却日	2017/01/31 (火)					
得意先	000001	ふくろう建設株式会社				
現場	000003	陸波川外河川災害復旧工事 (竹の遺構)				
基本情報						
倉庫	0001	本社倉庫				
検収日	2017/01/31 (火)	リース止日	2017/01/31 (火)			
担当者	8888	ネスト	事業所	本社		
商品コード	品名	数量	単価	原単価	備考	
販売①	01-002-003	引取運搬費	1	9,000.0	0.0	
販売②			0	0.0	0.0	
販売③			0	0.0	0.0	

販売品の入力欄

- ・販売品は返却日で売上計上されます。レンタル品のリース料はリース止日で売上計上されます。

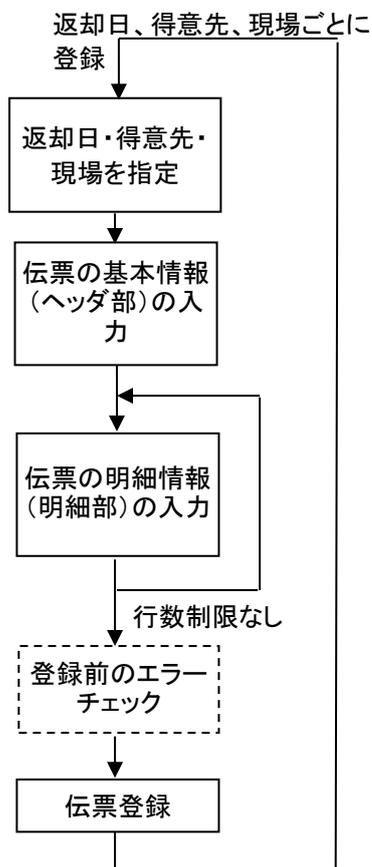
商品	売上日	売上計上のタイミング
レンタル品	リース止日	検収入力後
引取運賃、販売品	返却日	検収入力後
減損、整備	検収日	検収入力後または整備売上入力後 (運用設定の設定に従う)

- ・検収入力に登録する整備内容は運用設定の「検収と同時に整備売上する」の設定に従います。
「する」と設定されている場合、検収入力の更新と同時に整備費用の売上を計上します。
「しない」と設定されている場合、検収入力からは整備費用の売上を計上しません。
- ・返却日時時点で指定した得意先・現場の返却残が無い場合は検収入力できません。
- ・返却残数を超えた数量を返却(今回引取数に指定)することはできません。
- ・検収入力の明細行で指定できる商品は、レンタル品のみです。(販売品は引き取りません)
検収入力を行うことにより、商品が在庫に戻ります。
ただし、検収直後は「今回引取数－整備済数」が「未整備」として在庫に戻ります。
未整備数を貸出可能数に戻すためには別途、整備完了入力が必要です。
在庫については、業務マニュアルの「在庫管理概要」も参照してください。

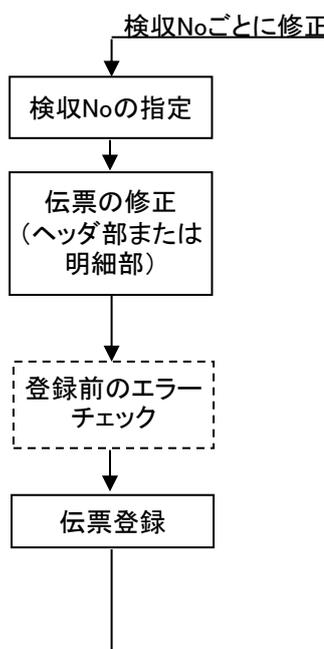


・ 検収入力の操作の流れ

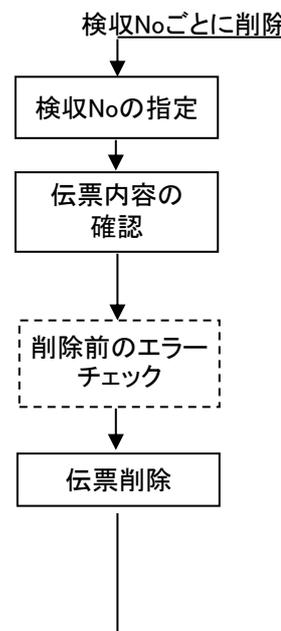
i) 新規登録



ii) 伝票修正



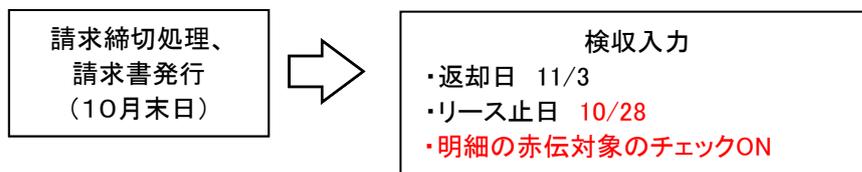
iii) 伝票削除



※検収Noは重複可能です。
同じ伝票Noが存在した場合は、伝票一覧が自動で表示されます。
表示された中から対象となる伝票を選択します。

2) リース止による赤伝計上(前月請求分の赤伝)

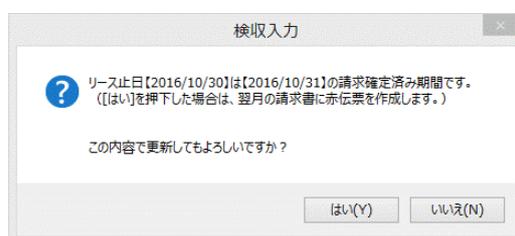
前月締日よりあとに返却があり、リース止日に前月締日以前を指定した場合、リース止赤伝票を作成することができます。



↓

売上日:11/3 で「10/29～10/31」の3日間の赤伝票が作成され
11月の請求書に3日分の赤伝票が載ります。(売上日は返却日)

赤伝票が作成されるケースでは検収伝票登録時に下記のようなメッセージが表示されます。



Point

- ・ 赤伝作成機能を有効にするには、必ず明細の「赤伝対象」をチェックONにしてください。
以下の場合は赤伝対象のチェックを変更できません。
- ① 既に作成した検収伝票のリース止日は請求確定日以前
- ② 返却日と同締切期間のリース止日を指定した場合

3) 滅失、全損、整備について

滅失、全損、整備の売上計上のタイミングは運用設定の「検収と同時に整備売上する」の設定に従います。

「する」と設定されている場合 **検収入力の更新と同時に整備費用の売上を計上します。**
検収日が空白の場合は売上を計上しません。また、在庫は減少しません。

「しない」と設定されている場合 明細で入力する滅損、整備の内容は整備売上入力にリレーされます。
 整備売上传票を登録すると滅損、整備が売上計上されます。

検収伝票の登録のみでは売上計上されません。
検収日が空白の場合は在庫は減少しません。

滅失、全損、整備の数量や整備内容は整備売上入力にリレーされます。

社内整備は整備売上入力にはリレーされません。

明細情報	削除	商品コード	管理番号	仕入先略名	返却種	リース止日	今回返却数	備考	滅損	整備済数	整備用商品	社内整備1	社内整備2	社内整備3
1	<input type="checkbox"/>	02-001-002				2017/01/31	5		詳細		4	0	0	0
		敷鉄板 3×6 19mm			7									
2	<input type="checkbox"/>						0	0		0		0	0	0

滅失(全損) ... 滅失(全損)数で検収日で実在庫(帳簿在庫)が減少します。

滅失(全損)数および、詳細画面にて指定した内容が整備売上入力にリレー、初期表示されます。
 詳細画面では品名、単価などを指定できます。
 単価、原価には商品マスタの滅損単価が初期表示されます。

滅失の詳細画面

商品コード	品名	単価	原単価
03-010-021	養生メッシュシート(グリーン) W1800×H5100	500.0	0.0
備考	仕入先		
滅損額値引しました	イーグル		

初期表示

品名 ... 商品マスタの品名
 単価・原単価 ... 商品マスタの滅損単

整備 ... 運用設定の「整備商品CD」で指定されている商品の略名がタイトルに表示されます。

詳細画面で指定した内容が整備売上入力にリレー、初期表示されます。
 詳細画面では整備名(品名)、単価などを指定できます。
 新規モードの場合、整備名、単価などは整備単価登録で登録された全内容が初期表示され、数量が0以外の整備内容が登録されます。
 修正モードで開いた場合は、新規時に登録した整備内容のみが初期表示されます。

整備の詳細画面

商品コード	品名	管理番号			
03010021	養生メッシュシート(グリーン) W1800×H5100				
整備分類コード	整備分類名				
1002	メッシュシート修理				
整備詳細情報					
整備名	数量	単価	原単価	備考	仕入先
メッシュシート破れ大	1	800.0	800.0		
メッシュシート破れ中	1	500.0	400.0		
メッシュシート破れ小	2	300.0	100.0		
	4	0	0.0	0.0	

初期表示

整備名、単価、原価単価、仕入先

整備名	単価	原単価	仕入先略名
メッシュシート大破	1,000.0	800.0	
メッシュシート破れ大	800.0	800.0	
メッシュシート破れ中	500.0	400.0	
メッシュシート破れ小	300.0	100.0	

整備名の▼をクリックすると整備単価マスタに登録されている内容がリスト表示されます。
 リストを選択すると、整備名、単価などが設定されます。

社内整備 ... 運用設定の「社内整備1(～3)」で指定されている内容がタイトルに表示されます。

整備売上入力へのリレーや売上計上はされません。
 数量を入力すると、整備一覧表などで集計されます。

4) 基本情報(ヘッダ部) 項目の説明

入力画面の上部にある基本情報をヘッダ部と呼びます。
ヘッダ部には、1伝票共通で設定できる項目が表示され、入力することができます。

Point

- ・基本情報では、引取運賃および、引取時の販売品を指定することができます。
- ・「表示(F1)」をクリックすると、基本情報、明細情報が表示されます。
- ・「返却日」は伝票修正時に変更できます。「表示(F1)」ボタンクリック前に変更します。



- ・項目によっては、上部メニューの「その他」→「伝票設定」から表示/非表示を設定することができます。
- ・非表示に設定した項目は画面上に表示されなくなりますが、値は設定されます。
- ・設定内容はログイン担当者別に保存されます。

項目名称	説明
伝票No	<p>検収伝票の伝票Noです。 採番管理登録の設定によっては重複することもあります。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示)</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検収伝票Noは検収報告書に出力されます。
返却日	<p>貸出商品の返却日を指定します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・返却日には、運用設定で指定した入力期間制限を越える日付は指定できません。 ・減損数がある場合、返却日で実在庫(帳簿在庫)が減少します。 ・今回引取数が返却日で在庫に戻ります。 ※ 整備済数は貸出可能数に、 未整備数(=今回引取数 - 整備済数)は未整備数として戻ります。 ・リース止赤伝、ヘッダ販売品の売上日となります。
得意先	<p>商品が返却された得意先のコードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) 得意先コード欄をダブルクリックすると、得意先登録が表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝票登録後の得意先変更はできません

項目名称	説明
得意先名1、 得意先名2	<p>指定した得意先の名称が初期表示されます。 基本情報表示後、手入力にて入力することもできます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変更した場合は当伝票にのみ有効です。得意先マスタは変更されません。 ・検収入力で入力した得意先名は検収報告書に出力されます。
現場コード	<p>現場のコードを指定します。マスタ検索からの選択も可能です。 (SPACEまたはF4キーで検索画面表示) 現場コード欄をダブルクリックすると、現場登録が表示されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝票登録後の現場変更はできません
現場名1 現場名2	<p>現場を指定すると、現場名1、現場名2が初期表示されます。 変更できません。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場名は検収報告書に出力されます。
表示(F1) ボタン	<p>クリックすると、基本情報、明細情報を表示します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表示前まで、返却日を指定(変更)できます。
引取倉庫	<p>商品を引き取った(入庫した)倉庫を指定します。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回の検収(引取)で入庫倉庫が別れる場合は、複数の検収伝票を入力してください。 ・整備完了入力された明細がある場合は変更不可になります。
検収日	<p>検収を行った日付を指定します。</p> <p>Point</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;">  </div> <div> <p>「確定する」チェックをONにすると、 検収日が入力できるようになります。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・検収日には、運用設定で指定した入力期間制限を越える日付は指定できません。 ・検収日には、得意先の請求確定日以前の日付は指定できません。 ・検収日は検収報告書に出力されます。 ・検収日は滅失の在庫を減少する日付として使用します。 ・伝票機能設定で検収日の初期値を空白とするか、本日日付とするかを設定できます。 ・運用設定の「検収入力と同時に整備売上を計上する」が「する」に設定されている場合、 整備売上の計上日が検収日となります。 検収日が空白の場合は整備売上を計上しません。 ・整備完了入力された明細がある場合は確定OFFは不可となります。 整備完了日を超える日付は指定できません。

項目名称	説明
リース止日	<p>リース止め(請求期間の終了日)を行う日付を指定します。</p> <p>基本情報のリース止日を変更した場合、確認メッセージが表示され、「はい」をクリックすると、明細のリース止日が全て基本情報のリース止日の上書きされます。</p> <div data-bbox="544 367 839 533" style="text-align: center;"> </div> <p>前回締日以前のリース止日を指定した伝票を登録した場合、売上の赤伝票が計上され、次回請求書に載せられます。 詳しくは「2）リース止による赤伝計上(前月請求分の赤伝)」を参照してください。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース止日には返却日以前の日付を指定してください(超える場合はエラー)。 ・リース止日には、運用設定で指定した入力期間制限を越える日付は指定できません。 ・リース止日は検収報告書に出力されます。
担当者	<p>この検収伝票の担当者を指定します。 コードを直接手入力するか、SapceまたはF4キーにてマスター一覧より選択できます。 得意先マスタの営業担当者が初期表示されます。</p> <p>事業所名は担当者横に表示されています。担当者の所属する事業所が表示されます。 事業所は伝票ごとに保持されていますので、登録後に担当者の所属する事業所が変更となってもデータにセットされた事業所は変更されません。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「他事業所データ変更可」(担当者マスタ)の権限がない担当者がログインしている場合は、他事業所の伝票を登録(追加、更新、削除)できません。
メモ入力 (ボタン)	<p>伝票ごとのメモを入力することができます。 ボタン押下にてメモ入力画面が開きます。 メモ入力している場合、メモボタンがオレンジ色になり、横に入力内容が表示されます</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検収伝票のメモの印字箇所はありません。
販売①～③ 品名 数量 単価 原単価 備考 仕入先	<p>返却時の販売品を指定します。引取運賃もここで指定します。 商品コードを指定すると、品名や単価などの項目が入力できます。 売上日＝返却日で、入力内容が売上計上されます。 (商品マスタの種別がレンタル系の場合、種別には「販売」が設定されます。 レンタル系ではない場合、商品マスタの種別が設定されます。)</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売品に単品管理「する」商品は指定できません。 ・在庫管理「する」商品は、伝票更新時に在庫チェックが行われます。 ・数量、単価の少数以下桁数は、運用設定で変更できます。 ・単価欄では <ul style="list-style-type: none"> ・SpaceまたはF4キーにて単価計算画面が表示されます。 ・F3キーにて売上単価履歴が表示されます。 単価計算画面および、売上単価履歴画面については受注入力のマニュアルを参照してください。

5) 明細情報(明細部) 項目の説明

入力画面の下部にある明細情報欄の商品が指定できる箇所を明細部と呼びます。

Point

- ・検収伝票の明細行数に制限はありません。
- ・修正表示時、明細行は商品コード、単品管理番号、仕入先コード順で表示されます。

明細情報											
削除	商品コード	管理番号	仕入先略名	受注No	リース止日	赤伝対象	減失	全損	整備済数	整備用商品	
	品名			受注行No	返却残	今回返却数					備考
<input type="checkbox"/>	03-002-604				2017/06/16	<input type="checkbox"/>					詳細
	アルミ梯子 一連	5m			8	1	0	0		1	0

項目名称	説明
削除 (ボタン)	<p>入力した行を削除する場合、この削除欄にマウスでチェックを入れます。 (チェックを入れると行全体がグレー背景になります) その状態で伝票登録するとチェックを入れた行が削除されます。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備完了入力された明細行は削除できません。
行No	<p>先頭から自動で行Noが付番されます。 「*」マークの行は、まだ何も入力されていない行です。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検収伝票では行Noは登録されません。 伝票登録後、修正表示する際には入力時の行Noではなく、「商品コード」「単品管理番号」「仕入先コード」順で表示されます。
商品コード	<p>今回引取した商品の商品コードを指定します。 SpaceまたはF4キーにて表示される「返却残商品選択」画面から指定します。 受注Noを指定して商品を選択することができます。 指定した受注No・行Noに対して返却・リース止処理をします。 商品コードを直接手入力することはできません。</p> 
品名、 単品管理 番号、 仕入先略名	<p>返却残商品選択画面で選択した商品の情報が表示されます。 手入力による変更はできません。</p>
受注No 受注行No	<p>「返却残商品選択」画面で受注No指定して選択した場合に受注No・行Noが表示されます。</p>
返却残数	<p>表示されている商品の返却日時点での返却残数が表示されます。 ※受注Noを指定している場合は受注No・行Noに対しての返却残数が表示されます。</p>

項目名称	説明
リース止日	<p>基本情報のリース止日が初期表示されます。 前回締日以前のリース止日を指定した伝票を登録した場合、 売上の赤伝票が計上され、次回請求書に載せられます。 詳しくは「2）リース止による赤伝計上(前月請求分の赤伝)」を参照してください。 リース止分の売上傳票の売上日となります。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本情報のリース止日と違う日を指定して、明細毎にリース止日を指定することもできます。 リース止日には返却日以前の日付を指定してください(超える場合は警告)。 リース止日には、運用設定で指定した入力期間制限を越える日付は指定できません。 明細と基本情報のリース止日に違う日を設定した場合、検収報告書の明細行の入庫分の「整備品、整備備考」に基本情報と異なるリース止日のみ印字されます。
赤伝対象	<p>リース止赤伝を作成する場合はチェックONにします。</p> <p>Point</p> <p>明細リース止日を請求確定日以前の日付に指定した場合は自動でチェックONになります。 返却日とリース止日が同締切期間内の場合はチェックONにすることができません。 既に請求確定した明細のチェックは変更できません。</p>
今回返却数	<p>今回返却された数を入力します</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 返却残数を超えて引取すること(返却残数<今回返却数)はできません。 今回返却数が0の行は登録されません。 伝票修正で今回返却数を0に変更して登録した場合、行削除チェックONと同じ意味になります。
備考	<p>引取に関する備考を入力します。 リース料の売上傳票の備考に設定されます。</p>
減失全損	<p>今回引取数の内の減失(全損)(破損により廃棄、紛失などによりお客様に弁償額を請求する)数を指定します。</p> <p>減失(全損)数を入力すると、入力欄の上のボタンをクリックすることにより詳細設定画面が表示されます。この画面から減失(全損)の、品名・単価・備考などを指定できます。</p> <p>検収伝票を登録すると減失(全損)数の在庫数(帳簿在庫)が検収日で減少します。</p> <div style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">詳細ボタンをクリック</div>  <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 検収入力を入力した減失(全損)数、詳細情報は整備売上入力にリレーされます。 詳細画面の減損単価、原単価は商品マスタに登録されている減失(全損)単価、減失(全損)原単価が初期表示されます。 今回引取数<減失(全損)数 の登録はできません。 単価欄ではSpace、またはF4キーで単価計算画面、F3キーで単価履歴画面が表示されます。

項目名称	説明
整備済数	<p>今回引取数のうちの整備済み数を指定します。 今回引取数が初期表示されます。</p> <p>整備済み数は貸出可能数として、「今回引取数 - 整備済数」は未整備として入庫します。 入庫日は検収日となります。検収日が空白の場合は整備済数は入庫されません。</p> <p>Point</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備が無い場合、検収入力時に整備済みの場合、整備が短時間で終わる場合は今回引取数=整備済数として登録すると便利です。 反対に、整備に時間がかかるものは貸出可能数に反映されないように登録します。 未整備として入庫したものは整備完了入力で貸出可能に戻すことができます。
整備	<p>今回引取数の内で整備が必要なものがある場合、詳細ボタンをクリックして、整備内容、数量、単価などを入力します。</p> <p>整備のタイトルには運用設定の「整備用商品CD」で指定された商品の略名が表示されます。</p>

詳細ボタンをクリック

削除	商品コード	管理番号	仕入先略名	返却残数	今回引取数	リース止日	備考	減損	整備済数	整備用商品	社
1	02-001-002					2018/12/27					
	敷鉄板 3×6 19mm			11	1			0			
2											

検収入力-整備詳細設定

商品コード	品名	管理番号			
02001002	敷鉄板 3×6 19mm				
整備分類コード	整備分類名				
1005	敷鉄板修理				
整備詳細情報					
整備名	数量	単価	原単価	備考	仕入先
敷鉄板修理 大破	0	1,000.0	0.0		
敷鉄板修理 破損大	0	750.0	0.0		
敷鉄板修理 破損中	0	550.0	0.0		
敷鉄板修理 破損小	0	350.0	0.0		
	0	0.0	0.0		

整備名の▼ボタンをクリックして表示されたリストから選択

4	敷鉄板修理 破損小	0	350.0	0.0
5	整備名	0	0.0	0.0
	敷鉄板修理 大破	1,000.0	0.0	
	敷鉄板修理 破損大	750.0	0.0	
	敷鉄板修理 破損中	550.0	0.0	
	敷鉄板修理 破損小	350.0	0.0	

整備詳細画面には、整備単価マスタに登録されている全内容が表示されます(新規時)。整備単価マスタと検収(引き取った)商品は整備分類コードで紐付けされます。

整備単価マスタに登録されていなくても整備名、単価などを手入力することもできます。

更新時には、整備の数量0以外のものが登録され、修正で検収伝票を表示した場合は新規時に登録された整備名の行のみ表示されます。

検収入力主画面の整備済数は、詳細画面で指定した数量合計が表示されます。そのため、今回引取数<整備済数 になる場合もあります。

Point

- 検収入力で入力した整備情報は整備売上入力にリレーされます。
- 整備品は在庫管理されないため、売上倉庫は設定されません。
在庫の増減もありません。
- 単価欄ではSpace、またはF4キーで単価計算画面、F3キーで単価履歴画面が表示されます。

項目名称	説明
社内整備 1～3	整備売上入力に引き継がない(売上計上しない)、整備があればその数を入力します。 詳細ボタンをクリックすると、備考を入力できます。 Point ・社内整備は整備売上入力にはリレーされません。 ・入力した社内整備数は、検収一覧表のほかに整備一覧表や整備台帳でも確認 できます。

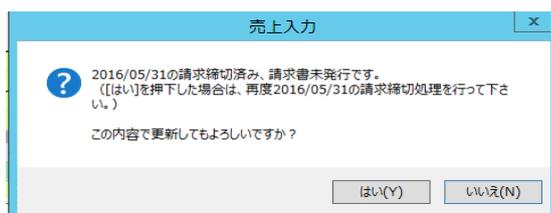
6) 明細情報(フッター行) 項目の説明

項目名称	説明
検収報告書	チェックONで更新すると、検収報告書を即時発行することができます。 ※ 都度請求の得意先の場合、「検収報告書 兼 請求明細書」が出力されます。 検収入力では整備分の売上は計上されないため、整備売上がある場合は整備 売上入力後に検収報告書を発行してください。

7) 検収伝票更新におけるその他注意事項

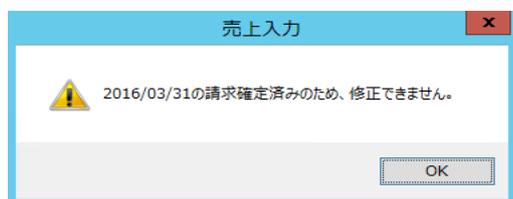
新規、修正、削除共通

- ・返却日、検収日、リース日には入力可能年月日を超えた日付を指定できません。
- ・「他事業所データ変更可」(担当者マスタ)の権限がない担当者がログインしている場合は、他事業所の他事業所の伝票を登録(追加、更新、削除)できません。
- ・得意先の使用区分を「売上停止」「使用しない」に設定している場合は更新ロックがかかり、更新(削除)できません。
- ・請求締切後に締切済み期間内の伝票を新規追加、修正、削除しようとした場合、以下のようなメッセージが表示されます。
伝票登録後は対象の得意先に対して請求締切処理と請求一覧表出力を再実行してください。



請求書発行済みかどうかは、請求締切処理後、請求書のプレビューを表示またはプレビューなしで直接印刷したかどうかで判定しています。

- ・仕訳連動オプションを導入している場合、仕訳作成済の伝票に関しても上記の請求済許可と同様に警告メッセージが表示されます。
運用設定で許可しない設定にしている場合は、仕訳作成済の伝票の修正、削除はできません。
- ・請求確定処理後に、請求確定日以前の伝票を新規追加、修正、削除しようとした場合、以下のようなメッセージが表示され、伝票の更新はできません。(新規登録、削除含む)
請求確定日以前の伝票の登録が必要な場合は、再度請求確定処理を行って、請求確定日を伝票が登録可能な過去締日まで請求確定日に戻して下さい。



新規

- ・請求確定済み期間<検収日のみ登録可能です。
- ・明細には指定した得意先・現場に対して貸出中の商品を全て表示します。

明細情報							
削除	商品コード	管理番号	仕入先略名	受注No	リース止日	赤伝対象	
	品名			受注行No	返却残	今回返却数	
1	<input type="checkbox"/> 03-003-103 安全ネット 3m×6m				2017/06/16	<input type="checkbox"/>	
					5		0
2	<input type="checkbox"/> 03-004-003 鋼製足場板 3m				2017/06/16	<input type="checkbox"/>	
					95		0
*	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>	
					0		0

修正

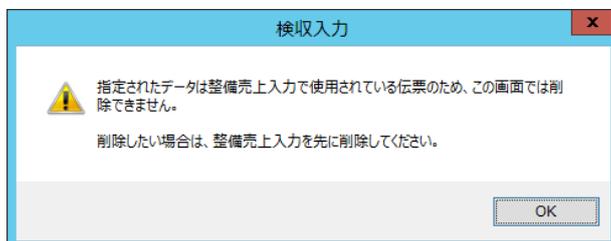
- ・修正で伝票を開いた場合、どの項目も修正していないと伝票登録はできません。

◆ 整備売上済の制御

- ・運用設定で「検収入力から整備売上を計上する」が「しない」に設定されている場合のみ、整備売上済の制御チェックがあります。

検収と同時に整備売上を計上する場合は整備売上済のロック制御はありません。

- ・整備売上済の検収伝票は削除できません。



- ・整備売上済は、減損、整備でそれぞれ売上することができます。
減損が売上されると、減損項目の入力がロックされます。
整備が売上されると、整備項目の入力がロックされます。

明細情報							減損	整備済数	整備用商品
削除	商品コード	管理番号	仕入先略名	返却残	リース止日	備考			
1	02-001-004				2017/04/04		詳細		詳細
	数鉄板 4×8 22mm			5	2		1		4

① ② ③ ④

整備売上			①	②	③	④	⑤
減失	全損	整備詳細	削除チェック	商品コード	減損の列	全損の列	整備の列
未処理	未処理	未処理	-	-	-	-	-
処理済み	処理済み	処理済み	ロック	ロック	ロック	ロック	ロック
処理済み	未処理	未処理	ロック	ロック	ロック	-	-
未処理	処理済み	未処理	ロック	ロック	-	ロック	-
未処理	未処理	処理済み	ロック	ロック	-	-	ロック
処理済み	処理済み	未処理	ロック	ロック	ロック	ロック	-

- 『減失』 or 『全損』 or 『整備』が整備売上済み → 『削除チェック』と『商品コード』をロック
- 『減失』が処理済み → 『減失』に関わる欄をロック
- 『全損』が処理済み → 『全損』に関わる欄をロック
- 『整備詳細』が処理済み → 『整備詳細』に関わる欄をロック

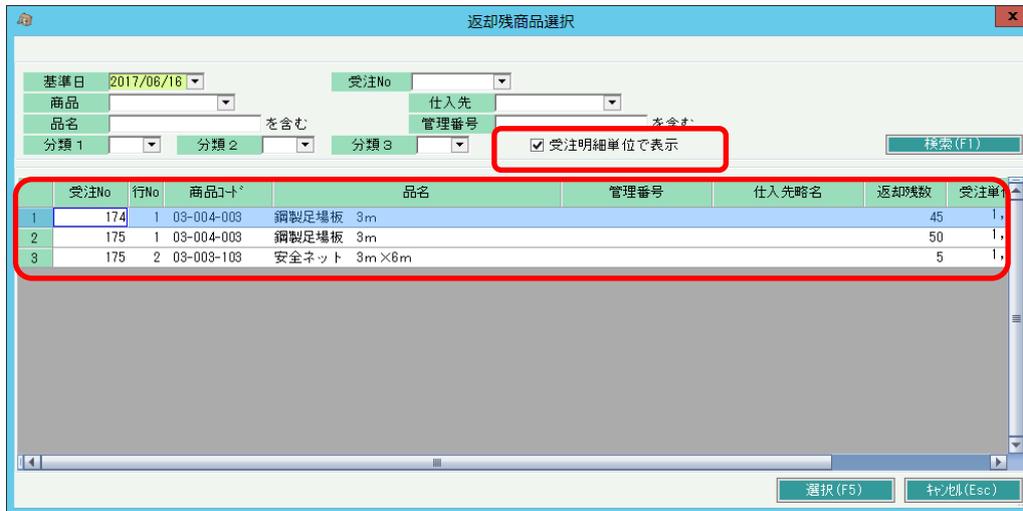
◆ 整備完了済の制御

- ・整備完了入力された明細/明細がある場合は以下の制御があります。

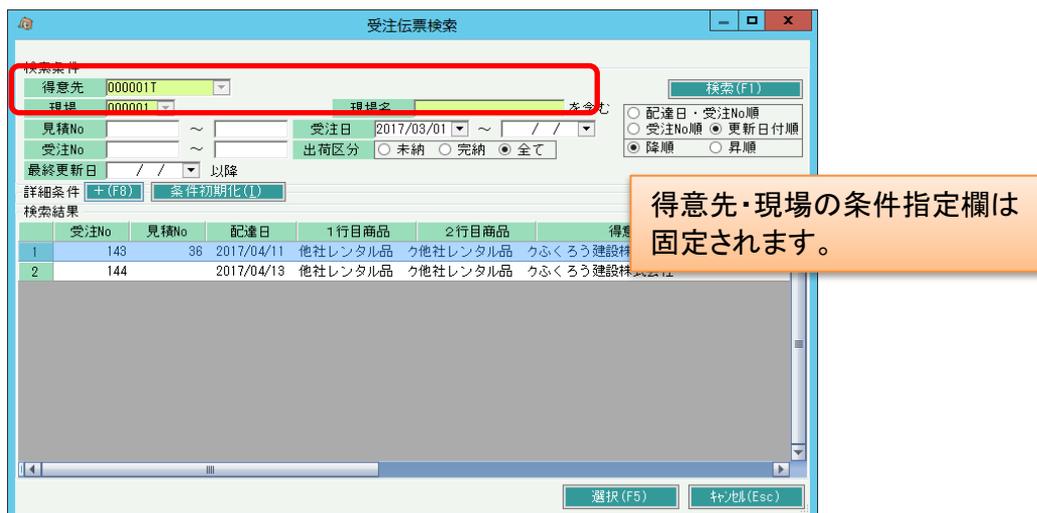
- ・倉庫の変更はできません。
- ・検収日が整備完了日を超える日付は入力できません。
- ・整備完了された明細は削除できません。
- ・未整備数(今回返却数から減失・全損・整備済数を除いた数)が整備完了数を下回る入力もできません。
- ・検収伝票を削除することはできません。検収Noの整備完了伝票を全て削除する必要があります。

◆ 返却残商品選択画面の補足説明

返却残商品選択画面で「受注明細単位で表示」をチェックONにすると受注明細単位で表示します。受注No+行No別に商品を選択することができます。

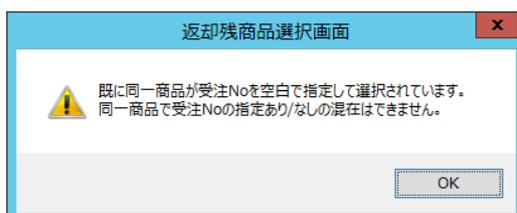


また、受注No欄でスペース・▼をクリックすると、受注伝票検索画面を表示しますが、表示される受注伝票は検収伝票の得意先・現場、返却残がある明細がある受注伝票のみとなります。



Point

- 既に選択済の商品も返却残商品選択の一覧に表示されます。同じ商品を別行に指定することもできます。リース止日が違う場合などに対応できます。ただし、受注No指定なしで商品を選択している状態で受注Noを指定すると同じ商品が一覧に表示されることがあります。そのときは以下のメッセージが表示します。



◆ 請求確定済の制御

- 返却日、検収日がそれぞれ請求確定期間、入力可能年月日期間に含まれるかどうかで画面のロック状況が変わります。

① 返却日のみ請求確定期間または入力可能年月日の期間外

ヘッダの検収日と明細の整備項目(減失、整備済数、修理代)のみ操作できます。

削除	商品コード	管理番号	仕入先略名	受注No	リース止日	備考	減失	整備済数	修理代
1	R00302				2017/05/10		0	2	0
	WCT50㎓ -20m			6					

② 返却日、検収日がともに請求確定期間または入力可能年月日の期間外

全ての項目が操作不可となります。伝票の更新もできません。

削除	商品コード	管理番号	仕入先略名	受注No	リース止日	備考	減失	整備済数	修理代
1	R00102				2017/04/16		1	1	3
	WCT22㎓ -20m			5					

③ 一部明細のみ、明細リース止日が請求確定期間内または入力可能年月日の期間外

削除	商品コード	管理番号	仕入先略名	受注No	リース止日	備考	減失	整備済数	修理代
1	R00302				2017/05/13		0	2	0
	WCT50㎓ -20m			6					
2	R00113				2017/05/13		0	0	0
	WCT22㎓ (CS300挿入/挿付)-30m			6					
3	R00301				2017/05/22		0	0	0
	WCT50㎓ -10m			10					
4	R00401				2017/05/13		0	3	0
	WCT60㎓ -10m			10					